

総合演習

授業案フォーマット

授業タイトル : 鶴見川を守ろう

子供の設定 :

●地域の特徴

東京都町田市は東京都下であり、里山の自然も残る地域である。

三輪小学校の近くには自然も多いが何駅か先の町田駅には繁華街も多い。しかし、少し歩くと都内とは思えない自然があらわれる。

町田市は世帯人員が少なく 2005 年の国勢調査では 1 世帯あたりの平均人員が 2,45 人になっていることから一人っ子が多く、核家族が多い。東京都では一戸建てに住んでいる割合が 32%。66%がマンションやアパート等の共同住宅に住んでいる。それに対して町田市は 47%が一戸建て、50%が共同住宅に住んでいる割合になっていることから共同住宅に住んでいる児童が少ないのでよくある同じマンションなどの付き合い、社宅内での同世代の子ども同士の遊び、マンション内等の異年齢間の遊びが少ない。しかし三輪小学校地域には自然が多く残っていてそこで出会った仲間と遊ぶことも多いので共同住宅に住んでいない児童、一人っ子の児童でも異年齢間との交流は活発である。

●学年

町田市立三輪小学校 5 年

●子供達の構成

核家族の子供が約 19 名が多いが、二世帯の子供も 11 名いる。

児童数は 30 名。男女比は男子が 16 名、女子が 14 名。そのうちの男子児童 1 名が軽度の LD である。

運動会直後で男女のなかも深まり、休み時間も男女で遊ぶ姿が見られる。仲が良い一方で女子の間ではグループがつくられ対立したり、くっついたりして児童の間で問題が起こったりするが、児童間で解決できる程度である。

LD の男子児童は軽度であるが、聴覚情報弱く、「〇〇ページを開きます」と言っても何回も聞き返し、授業が中断することがしばしばあるので黒板にページ数をかくなどして男子児童に理解できるようにしている。黒板に書いても理解できない場合は男子児童の傍に行き、ゆっくりと丁寧にやさしく教え男子児

童が理解できるまで指示をしている。男子児童の LD については教師、保護者ともに聞きとり能力が困難であるが文字にして指示をしたり、ゆっくり情報量の少ない言葉にすれば理解、聞き取れることは認識している。男子児童はクラスの他の児童と接することが好きであり、自分からいろいろな話をするのが好きである。教師と保護者は連帯を図っていて、連絡帳を使って少しでも気になったことを教師に対して聞いてみたり、逆に教師から保護者に対して家ではどうなのかと聞いたり互いに知らない部分を知ることにより男子児童を理解することに努めている。

この小学校では図画工作、習字の時間で使う絵の具や墨汁をそのまま水道に流したり、給食のスープなど何でも水道に流したり、机の上の消しゴムの消しかすや給食で出たパンの袋をゴミ袋に入れずに床に捨ててしまう児童がいる。これは自分の生活と、自分たちが流してしまったもの、ポイ捨てしてしまったものが環境にどのような影響を及ぼしているのかが結びついていない現状であり、これらが環境汚染への第一歩だということに気付いていない現状である。

教師の問題意識：

現在、メディアなどで環境問題がますます重要視され、社会全体で知識を共有し、取り組まなくてはならなくなっている。それは子どもたちも同じである。

しかし、地球温暖化など問題となっている内容は規模が大きいため、子どもたちが自分の問題として問題意識を持って環境問題に取り組むことは難しい。本クラスの子どもたちにおいても、水周りの掃除の際に洗剤やクレンザーを無駄に使用したり、流しに何でも流してしまうといった行為が多く見られ、その水が川につながっていることを理解できていない子どもが多い。また一つのものを大切にすることを意識が低く、まだ使えるものを捨ててしまったり、教室内にポイ捨てしている子どもの姿も見られる。口では「環境や自然を大切にしよう」と言っているが、身近な行動に結びついていない。このことから身近な鶴見川の環境保全を考え、環境問題の意識を高めたい。

授業目的：（目に見えなくても構いません）

・私たちが生活している身近な地域にも環境問題が存在していることを知り、地域をより住みよい街にするために何ができるか考え、行動に移せるようになる。また、それを他クラス他学年に伝える。

子供達の到達目標：（目に見える具体的なものにします）

1. 鶴見川の特徴やその問題をいくつかあげられる。
2. 工場の人や地域の人のお話を聞く前に、事前に聞きたいこと知りたいことをワークシートに書ける。
3. 他クラスや他学年へ発表の準備をする際に、班の中で発表方法などについて意見を出し合うことができる。
4. 工場が排水をきれいにしてから流すという取り組みを参考にして、児童も墨汁や絵の具を水に流すときはそのまま流すのではなく、拭取るなどの処理を行いある程度きれいにしてから流すようになる。
5. 「ごみをどこにでも捨てない」ということから教室内でも床にポイ捨てしなくなる。
6. 無駄遣いしないようになり、まだ使えるものを最後まで使おうとするようになる。

授業計画：授業目的を達成するために必要な授業数と各授業の概要

（達成目標をクリアするのに必要なだけの授業を計画します）

授業回数	テーマ	各授業での子供達の具体的な達成目標
1	鶴見川ってどんな川？	・鶴見川は様々な川をまとめた名称だということを知り、その特徴をあげることができる。
2	鶴見川の水質をみてみよう。	・鶴見川が汚れている原因をあげられる。 ・地図をみて、気づいたことをノートに書ける。
3. 4	地域や地域の工場がどんな取り組みをしているか聞いてみよう。	・ワークシートの感想欄において、なぜ汚れた水をそのまま流してはいけないのか、理由をあげられる。 ・水道に墨汁を流す際に拭き取ってから流すことができる。
5～7	他クラス、他学年に鶴見川を知ってもらおう。	・進んで班の話し合いに参加し、自分の意見を述べ、作業中の役割を見つけることができる。

本時の授業：上記の表の1回目の授業(模擬授業は上記の授業計画の中の1つの授業をします)

本時の授業でのポイントや指導上の注意点：

- ・ 作業させる場面と教師からの指示、児童の発表を聞く場面とのメリハリをつけさせるために、話を聞く時には手には何も持たせない、前を向くことを徹底させる。
- ・ 航空写真を見せ、鶴見川の周りに何があるか興味を持たせる。
- ・ 指示をするときはできるだけ情報量の少ない指示にする。
- ・ 作業をするときは手順、やり方を黒板に書く。
- ・ 鶴見川に関するクイズを出し、興味を持たせる。

授業方法：なぜ、その授業方法／教材、etc.を選んだのか？

- ・ ワークシートを使用することで、色を塗ることにより鶴見川の主流を視覚的に理解させながら、他の川に気付きやすくすることができる。
- ・ google の航空写真を使用し、鶴見川を移動する感覚で周りに何があるか興味をもたせることができる。

本時の授業：

流れ	教師の指示内容	教師の動きなど	時間
導入	<p>T「これから総合的な学習の時間を始めます。この授業では、皆さんの学校にあるものをいろいろな視点から見ていきたいと思います。まず、皆さんはこの学校のそばを流れている川が何川か知っていますか。」</p> <p>C「知らない。」 C「知ってる。」 C「鶴見川って言うんだよ。」</p> <p>T「そうですね。この学校のそばを流れている川は鶴見川というのです。」</p> <p>「では、名前を知っていた人は多いかもしれませんが、鶴見川について他に知ってることはありませんか。何でもいいですよ。また鶴見川について何か意見がある人も手を挙げて発表してください。」</p> <p>C「フェンスがあって入れない。」 C「前にゴミ拾いをしたことがある。」 …etc</p> <p>T「たくさん鶴見川についての意見が出ましたね。」</p>	<p>(●=LD の男子児童、できていない児童への支援)</p> <p>○児童達の様子を見て、挙手をしている児童を指名し、発表してもらおう。</p> <p>●発問に対して理解していない児童がいる場合には発問内容をもう一度ゆっくり言う。</p>	10分

	<p>T「では、鶴見川ってどんな川なのかもっと知ってみましょう。今日は、そのために鶴見川に関するクイズを持ってきました。」</p> <p>(パワーポイントを使用しクイズをする)</p> <p>T「さあ、みんなは何問正解できたかな？全問正解したよっていう人ー？」</p> <p>C「はい」(…と全体に何問正解か聞いていく。)</p>	<p>○発表して出た生徒の意見を黒板に書く。</p> <p>●TTとしてLDの男子児童の近くにいて理解していない部分があれば教える。</p>	
展開	<p>T「つぎはもうちょっと詳しく鶴見川について考えていきましょう。」</p> <p>T「さあ、何の地図でしょう？いろんな線があるね。」</p> <p>C「川がかいてある！」「鶴見川の地図だ。」etc</p> <p>T「そうですね、鶴見川とその周辺の地図です。よくみると、川は一本の線だけではなくいろいろな所に伸びているよね。」</p> <p>C「ほんとだ。」「なんでだろう？」「鶴見川っていっぱいあるのかな？」</p> <p>T「そうなんです。実は、この川の線の中には鶴見川ではないところもあるんです。」</p> <p>T「さあ、今から鶴見川はどんな風に流れていくのかをみなさんには見つけてもらいたいと思います。」</p> <p>T「ワークシートを配ります。もらった人はすぐに名前を書いてね。書けたら鉛筆を置いて待っていてください。」(ワークシート配布)</p> <p>T「はい、では名前はかけたようですね。今からやり方を説明します。この流域の地図にはいくつかの地点に◎があり、その地名とそこに流れる川の名前がかっこの中に書か</p>	<p>○鶴見川を中心とした地図を貼る。</p> <p>○線に注目させ、川であることに気付かせる。</p> <p>○ワークシートを配布し、やり方を説明する。</p> <p>●TTは理解していない児童に「黒板のやり</p>	5分

<p>れています。皆さんには鶴見川の地点だけ赤ペンで◎をぬってもらいます。そして全部の鶴見川の地点に色をぬれたらその地点と地点を線で結んでみてください。そうすると鶴見川がどんな風になっているのか見えてきます。では、作業時間は 5 分間です。はじめてください。わからないところがあれば近くにいる先生に質問してくださいね。」</p> <p>C 「はい。」</p> <p>(作業)</p> <p>T 「では答え合わせをしたいと思います。」</p> <p>T 「鶴見川の主流は見つかりましたか。ずれてしまった人は答えを見ながら鶴見川だけに色を正しく塗ってみましょう。違うところに線を引いてしまった人は違うところにバツテンをつけておいてください。」</p> <p>C 「できた!」「あ、間違えてる!」「鶴見川ってこんな風に流れてるんだね」 etc...</p> <p>T 「そうだね。また違った見方をすると残った線は鶴見川以外の川になってるね。ここに書かれている川をいくつかあげてみましょう。」</p> <p>C 「奈良川」「恩田川」「矢上川」 etc</p> <p>T 「たくさんありますね。みんなの知ってる鶴見川は、今言ってくれたような川が集まってできていたんだね。」</p> <p>C 「そうなんだ!」「知らなかった。」 etc</p> <p>T 「では今度は、パソコンを使って鶴見川の終わり、河口から、三輪小学校の横までみていきますよ。みんながみたことがないかもしれない鶴見川が見れるかもしれませんよ。」</p> <p>C 「本当に??」</p> <p>T 「今から見るんだけど、見るだけではなく、鶴見川のま</p>	<p>方をみてみよう」と言って黒板に注目させる。</p> <p>○机間指導し、全部に色塗りしてないか見て回る。</p> <p>○黒板に貼った地図に答えを書く。</p> <p>○残りの線にも気付かせ、いくつか川の名前を挙げさせ、どの辺を流れているのか確認する。</p> <p>○わからない子がいた場合もう 1 回説明する。</p> <p>○グーグルの地図検索の航空写真を使用し、鶴見川の周りには何があるのか見ていく。</p> <p>●「あれなに?」という発言が</p>	<p>5 分</p> <p>5 分</p> <p>5 分</p>
---	---	----------------------------------

<p>わりには何があるかみつけてほしいの。鶴見川のまわりにあったものをワークシートに書いていってくださいね。わかりましたか？」</p> <p>C「はい」</p> <p>C「わかんない」→対応</p> <p>(地図を一緒にみていく。)</p> <p>T「さて、鶴見川の周りをみんなで見てみたけれど、すごかったね。」</p> <p>C「うん！」</p> <p>C「長かったたくさん川があったよ！」</p> <p>T「そうだね。長かったし、たくさんの川があったね。鶴見川はたくさんの川が一緒になっているんだよね。」</p> <p>T「では、ワークシートに何があったか書けたかな？」</p> <p>C「書けました。」</p> <p>T「では、今から何があったか発表してもらいたいと思います。」</p> <p>C「家がたくさんあった。」</p> <p>C「工場があった。」</p> <p>C「学校もあったよ。」</p> <p>C「森があった！」</p> <p>T「みんなからたくさんの意見が出ましたね。こんなに見つけられるなんて先生、驚きました。」</p> <p>T「川のまわりにはいろいろなものがありましたね。では、少しみんなに考えてほしいんだけど、みんなが出してくれた家とか工場とかあるけど、これを見て気付いたことを班で話し合っ、ワークシートに書いてください。」</p> <p>T「はい。書けましたか？」</p> <p>T「では発表できる人は手をあげてください。」</p>	<p>あれば小さなことでも拾って答える。</p> <p>○児童が航空写真を見て気付いたことを板書に書いていく。</p> <p>○児童の発表に対し、コメントしていく。</p> <p>○給食の班になるように指示</p> <p>○机間巡視</p> <p>●わかっていない場合何をするか教える。助言など</p>	<p>3分</p>
---	---	-----------

	<p>C「たくさんの建物が川の周りにはあるよ。」 C「人がたくさんいるみたい。」 C「全部私たち人間が利用しているものだ。」</p> <p>T「そうですねこの建物、大体が私たち人間、人が使っているものだよね。」 T「ということは鶴見川の周りには誰がたくさん住んでいるのかな？」 C「人」 T「そうです。鶴見川のまわりは人がたくさん住んでいますね。」</p>		2分
ま と め	<p>T「今日は鶴見川のこと、いっぱい知ることができましたね。」 C「うん！知らないことたくさん知れたよ。」 T「では今日の確認とまとめです。」</p> <p>T「鶴見川はどんな川でしたか？」 C「周りに人がいっぱい住んでいるよ！！」 C「いろんな川と繋がってる。」 C「長い川だった。」 C「周りにはたくさんの建物があったよ。」</p> <p>T「そうだね。今日は鶴見川についてたくさん知ることができました。」 T「ではワークシートを見てください。矢印が書いてあるところ、言葉が抜けているところ、はじめの空欄には何が入るでしょうか。」 C「人！」</p> <p>T「では次の空欄、ここは少し難しいんだけど何が入るかわかる人いますか？」 C「都市化」</p> <p>T「そうです。ここには都市化が入りますよ。空欄に都市化と書きましょう。都市化というのは人口が多くなったり、都市部の生活が広がってくることです。三輪小学校のま</p>	<p>○今日のポイントを児童に発問し、理解の確認を図る。</p> <p>○でなかった場合は助言</p> <p>○ここに時間はかけず出なかったら教師が言い、都市化について説明する。</p>	5分

	<p>わりにもたくさん家があるよね。」</p> <p>T「今日は鶴見川について、みんなでみていったり、意見を出したりしたけれど、そのことは来週やるところに繋がるのでしっかりと覚えておいてくださいね。ではこれでの授業を終わりにします。」</p>		
--	---	--	--

評価：子供達の達成目標が達成できたかどうか、何を判断基準にするか？

何をもって、この授業の評価にするか？

- ・ワークシートの鶴見川の主流に色が塗られている。
- ・ワークシートに鶴見川の周りには何があったか書けているか。
- ・班で話合う際、発言し、友達の発言に耳を傾けうなづく、あるいは質問や意見が言える。
- ・積極的にわかったことや思ったことが発表できている。

(子供達が達成すべき目標に照らして、子供達の評価、この授業の評価をします。何をもって、この授業の目的を果たせたと判断するか？修正が必要な場合は、どのように修正していくか？などを書きます。)